



いのほろ

8

平成23年8月
No.78



想像できますか？津波の恐ろしさ！！

主な内容

《特集》

東日本大震災 震災から学ぶこと 2~8

想像を超える震災／震災を語る／忍び寄る震災／自主防災会と地域防災力／

市総合防災訓練／震災への備え

今年の夏も「熱中症」にご用心!! 9

児童扶養手当現況届・ひとり親家庭医療費受給資格更新申請書の提出 9

市長室だより／飛び出せ、市長室!! 10

くらしのガイド 14~16



●Proud!Japan (プラウド!ジャパン) 運動 この運動は、Proud!Japanというロゴマークとともに「被災地のみなさんは日本の誇りです！だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしておもうという運動です。

東日本大震災

震災から学ぶこと

2011年3月11日午後2時46分頃。三陸沖を震源に巨大地震が発生しました。東日本をはじめ、日本各地に甚大な被害をもたらしたこの震災からもうすぐ5か月が経ちます。私たちは、この震災から何を学ばなければならないのでしょうか。



▲宮城県南三陸町では、約15メートルの津波が押し寄せ、公立志津川病院や町役場庁舎などをのみ込み、980人も死者行方不明者を出しています。

(7月21日現在 宮城県発表)

▶宮城県女川町では、液化化現象や想像を絶する津波の威力により、ビルがサイコロのように転がっています。みなさんは、このような風景を見て、地震や津波の恐ろしさを想像できるでしょうか。



国内観測史上最大地震

東北地方太平洋沖地震は、1995年に発生した阪神淡路大震災のマグニチュード7.3を大きく上回る、マグニチュード9.0を記録し、国内の観測史上最大となりました。

宮城県内では、震度7を記録した地域があり、遠く離れた山梨県中央市などで震度5強を記録しました。上野原市は震度4を記録しましたが、停電以外の大きな被害はありませんでした。

しかし、北海道から関東地方の太平洋沿岸にかけて地震による津波が発生し、多くの人命や住宅がのみ込まれ、甚大な被害をもたらしました。

死者と行方不明の合計は、2万569人(平成23年7月21日警察庁発表)であり、関東大震災の約10万5千人に次ぐ被害となっています。

さらに、この地震の影響により起きた福島第一原発事故にともなう放射性物質の飛散は、福島県のみならず世界規模の被害へと拡大しています。

山梨県では、県内に設置してある測定器で放射線量を測定しています。現在のところ県内に健康被害がでるほどの報告はありません。

市では、測定器を購入し、帝京科学大学と連携しながら市独自の測定も行っていく予定です。測定した数値は、ホームページ等で随時お知らせしていきます。

想像を超える震災

震災を想像すること

ここは戦後の日本かと思うような光景。左の写真は、東日本大震災発生から約4か月経った宮城県南三陸町の光景です。町内の主要道路には、すでに瓦礫はなく、自動車が走っています。また、ガソリンスタンドなども営業を始めていて、少しずつ復興に向けて動



宮城県南三陸町志津川地区（7月9日撮影）

き出しているように見えます。しかし、道路から外れると泥や油にまみれた瓦礫が山積みになっていて、町の中はほこりや独特な悪臭が漂い、生活感はまったくありません。

このような状況を誰が想像したでしょうか。昔から津波による被害が多いこの周辺の地域では、防災訓練や対策は十分行われてきたはずですが。

しかし、その想定をはるかに超える津波には対処できませんでした。

さて、みなさんは、震災に対する想定をどの程度しているでしょうか。今回の震災の被害は、ほとんどが津波による被害であるため、海のない上野原市には関係ないと心のどこかで思っているのではないのでしょうか？近年、市内で想像を超えるような被害が出た記憶はないと思います。それでも、みなさんが想定している以上の災害が発生したとき、あなたは、どう思うでしょうか？あのときもつとこうしていればと後悔することでしょう。私たちは、大切な家族の生命を守るために、震災の恐ろしさをもっと想像し、正しく理解する必要があるのではないのでしょうか。

宮城県気仙沼市の被害

7月8日、江口市長をはじめ市職員4名が気仙沼市や女川町などを視察しました。また、気仙沼市長と面会し、被害状況などを伺いました。

気仙沼市内では、津波によって流されてきた漁船が配管を切断し、ライフラインが途絶えたり、爆発した石油タ

ンクが流され、住宅火災や山火事を起こすなど、想像をはるかに超える災害が続きつぎと起こりました。また、市役所隣の立体駐車場1階まで津波が押し寄せ、職員の手なども被害を受けました。

現在の災害対応は、少ない職員での対応となっていて、避難所運営などに大変苦慮していると、菅原市長や気仙沼市職員から説明がありました。



①気仙沼市の菅原茂市長（写真左）と江口市長（写真右）②気仙沼市役所で、震災の様子を話す菅原市長。③津波により鉄筋の骨組みと外壁だけが残った水産加工場。このあたりの漁港付近は火災なども発生し壊滅状態でした。④宮城県女川町の高台に立つ女川町立病院の駐車場から、津波にのまれ更地となった町内を見て愕然とする江口市長と市職員。津波は、江口市長が立っているこの場所まで上がってきたそうです。

震災を語る

宮城県気仙沼市の、死者・行方不明者は1406人、全壊・半壊の建物は10751軒にもおよびます。震災発生から5か月が経とうとしている今も、39か所の避難所では、1815人が厳しい避難所生活を送っています。(7月21日現在 宮城県発表)

そのなか、今回の震災で被災され、仮設住宅にも入れず、自力でプレハブ小屋を建てて生活している、気仙沼市階上地区長磯浜在住の熊谷好人さんに、震災の話しを伺うことができました。

震災発生

私は、地震が発生したとき妻と自宅にいました。縦に大きく揺れた地震は、長い時間揺れ、家具や本棚などが倒れ、立っていることもできませんでした。揺れが収まると、私たちの脳裏には津波が浮かびました。家を飛び出し、海を見ると、いつもは海のなかで見えない対岸の岩肌が引き潮で見えました。昭和35年のチリ地震の時も、引き潮が起ったため、大きな津波が来るとわかりました。すぐさま妻と二人で高台まで逃げました。避難後、家の様子が気になり戻ってみると、約5メートルの堤防を乗り越えてくる黒い色をした津波が見えました。次々に家がのみ込まれ、90世帯ある地区のうち21世帯が



▲のりや昆布の養殖業を営む熊谷好人さん。今回の震災で多くのものを失いました。しかし、みなさんの支援により、生活再建に向け、力強く歩みだしています。

津波により被害を受けました。そのうち残念ながら5人が亡くなりました。亡くなった方のほとんどが、一度避難したものの家に戻ってしまった人や一人で避難できない家族を避難させるときに津波にのまれてしまった方です。私の家は、二階部分を残り住居や作業場などほとんどが海へ流されました。二階部分は、近くに残っていましたが使える状態ではありませんでした。

震災発生後

震災発生後は、十分な食料がなく、3日間くらいは、地区のみんなまでビスケットを分け合いながら餓えをしのぎました。また、着の身着のまま逃げたので防寒具や衣類がなく、支援物資が

支給されるまで寒さで凍える思いでした。私たちは、震災後、プレハブ小屋で生活しています。プレハブ小屋の中は蒸し風呂のように暑く、シャワーも数日に一回しか利用できません。厳しい生活が続いています。しかし、全国からの支援により少しずつではありますが生活再建に向け頑張っています。

伝えたいこと

今、あのときの失望感や言いようのない悲しみから、このように話しができるまでこれたのは、地域のつながりや協力があったからだと思います。みなさんも、地域とのつながりを大切に、食料品などの備蓄をしながら震災に備えていただきたいと思います。



①



②



③

- ①熊谷さん宅の2階部分。津波は1波2波と何度も押し寄せ、2階部分は、午後5時過ぎの津波でこの位置まで運ばれました。
- ②3時18分を指したまま止まっている時計。津波到達時間でしょうか。
- ③被災者のみなさんは、復興に向け力強く頑張っています。

忍び寄る震災

市では、市民のみなさんの生命、身体および財産を災害から保護することを目的に、「上野原市地域防災計画」を平成17年度に定めました。このなかで、上野原市は、東海地震、南関東直下型地震、藤の木愛川断層地震などによる被害が大きいと想定しています。忍び寄る震災の被害を減らすために何がなか、山梨県富士・東部地域県民センター防災担当者に、お話を伺いました。

震災による被害想定

山梨県東部地域では、東海地震や首都直下型地震などによる被害が想定されています。しかし、東日本大震災は、想定をはるかに超える規模の災害であった為、これまでの想定を見直す必要がでてきています。そこで、5月18日、地域防災計画の見直しを内容とした山梨県防災会議が開かれました。この会議は、防災組織、集落の孤立化、緊急輸送・交通、ライフライン確保、富士山火災防災、原子力防災などを視点として、これまでの取り組みの検証や今後の取り組みの検討を行い、防災体制の見直しを行っていくものです。見直された内容によっては、これまでの県東部地域の被害想定も変わっていきます。ただし被害想定が変わっても、家屋の倒壊や土砂崩れ、火災発生などの被害は、過去の記録からも十分発生する可能性があり、注意する必要があります。

災害現場では

東日本大震災では、津波の被害が甚大でしたが、16年前の阪神淡路大震災

は、建物倒壊による圧死で亡くなられた方が、死亡原因の83・3%にもおおよびました。

また、災害現場では、各消防署に通報が殺到し、人員や資機材が追いつかず、また、倒壊した建物で道路が寸断され、緊急車両が現場に急行できない事態が発生。火災の現場では、断水のため消火できないなどの事態が生じ、多くの死者が出ました。このとき、大きな力を発揮したのは近隣の人たちの協力でした。阪神淡路大震災における救出の状況では、自力もしくは家族や隣人によって救出された方は94・9%にもおおよび救急隊による救出は1・7%にとどまりました。

このような状況で日ごろから重要となるのが、自分の身は自分で守り、自分たちの地域は自分たちで守る自助・共助の考え方です。

減災と自助・共助・公助

過去の例からもわかるとおり、震災が起きたとき被害をゼロにすることはできません。また、市役所や消防、警察などの公共機関は、震災の対応に限界があるのも事実です。

《自助》自分の身を自分の努力によって守る。

《共助》地域や近隣の人が互いに協力しあう。

《公助》国や県、市町村等の行政、消防公共機関等による救助・援助。

被害を最小限に減らす減災のためには、防災の基本であるこの三助が重要であると言われています。ただし、共助も公助も、自助が不可欠です。まずは、自分の身は自分の努力で守ることが重要となってきます。

▲山梨県富士・東部地域県民センターでは、防災意識の啓発のため、出張講座などを行っています。



発生年月日	被害の概要
1923(大正12) 9.1	関東大震災 (M7.9甲府震度6)、県内死者20人、負傷者116人、全壊家屋1,761棟、半壊4,992棟、地盤の液状化現象3か所
1924(大正13) 1.15	丹沢地震 (M7.3甲府震度6)、県東部で負傷者30人、家屋全壊10棟、半壊87棟、破損439棟、水道破損60か所
1944(昭和19) 12.7	東南海地震 (M7.9)、甲府市付近で負傷者2人、家屋全壊26棟、半壊8棟、屋根瓦落下29か所等 (山梨日日新聞)
1976(昭和51) 6.16	山梨県東部を震央とする地震 (M5.5) 県東部で住宅等一部破損77棟、道路22か所、田畑31か所、農業用施設79か所等
1983(昭和58) 8.8	県東部を震央とする地震 (M6.0)、県東部を中心に19市町村で被害、特に大月市に集中、負傷者5人、住家半壊1棟、一部破損278棟、田147か所、農林業用施設55か所、道路21か所、商工被害78件、停電全世界の66%等、被害総額3億5千万円
1996(平成8) 3.6	県東部を震央とする地震 (M5.3)、県東部を中心に14市町村で被害、負傷者3人、住家一部破損86棟、水道被害3,901戸等、被害総額1億5,000万円

▲山梨県内の被害記録 (「上野原市地域防災計画」より)

自主防災会と 地域防災力

減災には、特に自助・共助が重要です。では、地区の共助はどうなっているでしょう。今回、上野原市総合防災訓練主会場の対象となっている西部地区防災会長の倉田功さんに、地区防災の現状や取り組み、市総合防災訓練などのお話を伺いました。

自主防災会長として

今年の4月から西部地区の防災会長として、地区の防災に係わるようになりました。

東日本大震災の情報を聞くたび、日ごろからの備えが重要であると考えています。

地区住民の防災意識を高め、自主防災活動を進めることは容易ではありません。

しかし、地区役員や防災指導員、民生委員、地区のみなさんの支えがあるので、地区一丸となって地域防災力を高めたいと考えています。

地区の現状と防災意識

近年、地区行事や取り組みに参加する人が減少し、若い世代も仕事などで忙しく、地域との結びつきが以前に比べて薄くなってきたと思います。自主防災活動を進めるには地区の協力がなければ難しいと思います。

また、避難場所がどこだか分からないお年寄りがいれば、防災意識はあっても、具体的に行動している人は少ないのが現状だと思います。また、地域の防災計画や防災規



▲西部地区防災会長 倉田 功さん

約は作ってありますが、実情に沿ったものに変えていく必要があるのではと考えています。絵に描いたもちにならないように、地域の防災計画を見直し、地区住民の防災意識を高めていく必要があると考えています。

私たちは、尊い命が亡くなった東日本大震災の教訓をいかさなければなりません。

震災で重要なこと

震災に備えるとき重要なことは、防災意識と地区住民どうしのコミュニケーション、

倉田会長は、以前東京都に住んでいました。そこでは、地区住民の連携が少なく地域防災力が低いと感じていました。市では、近所や地域とのつながりが都内と比べて高いと感じています。

《写真》

①倉田会長の勝手口には、防災バッグが用意されています。②自宅には井戸があり、いざという時、使うことができます。③自宅の敷地は、地区の一時避難集合場所として使っています。

また震災を想像し備えることが重要だと思います。

まずは、市総合防災訓練に一人でも多く参加していただき、ひとりひとりの防災意識を高め、震災に備えることが必要だと思います。



市総合防災訓練

市では、上野原小学校を主会場として、8月28日(日)に総合防災訓練を行います。

主会場では、消火訓練、炊き出し訓練、避難所設置運営訓練などを行います。

また、当日は、午前8時30分に防災無線からサイレンの吹鳴と避難開始の放送をしますので、家庭内での安全・防災対策や近所の安全確認等をするともに、各地区において実施される訓練に積極的に参加しましょう。



▲昨年行われた、西原地区を主会場とする市総合防災訓練の様子です。参加したみなさんは、防災訓練に真剣に取り組んでいました。

●お問い合わせ 総務課行政防災担当 (☎62-3117)

■大目・甲東地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
1	旧大目小学校	大目地区
2	大目保育所	〃
3	旧甲東小学校	甲東地区
4	旧和見分校	甲東(和見)地区
5	旧平和中学校	大目・甲東地区
6	甲東保育所	甲東地区

■巖地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
7	旧沢松小学校	沢松地区
8	沢松幼稚園	〃
9	上野原西小学校	四方津地区
10	上野原西中学校	〃
11	巖保育所	〃
26	上野原高校	沢松地区

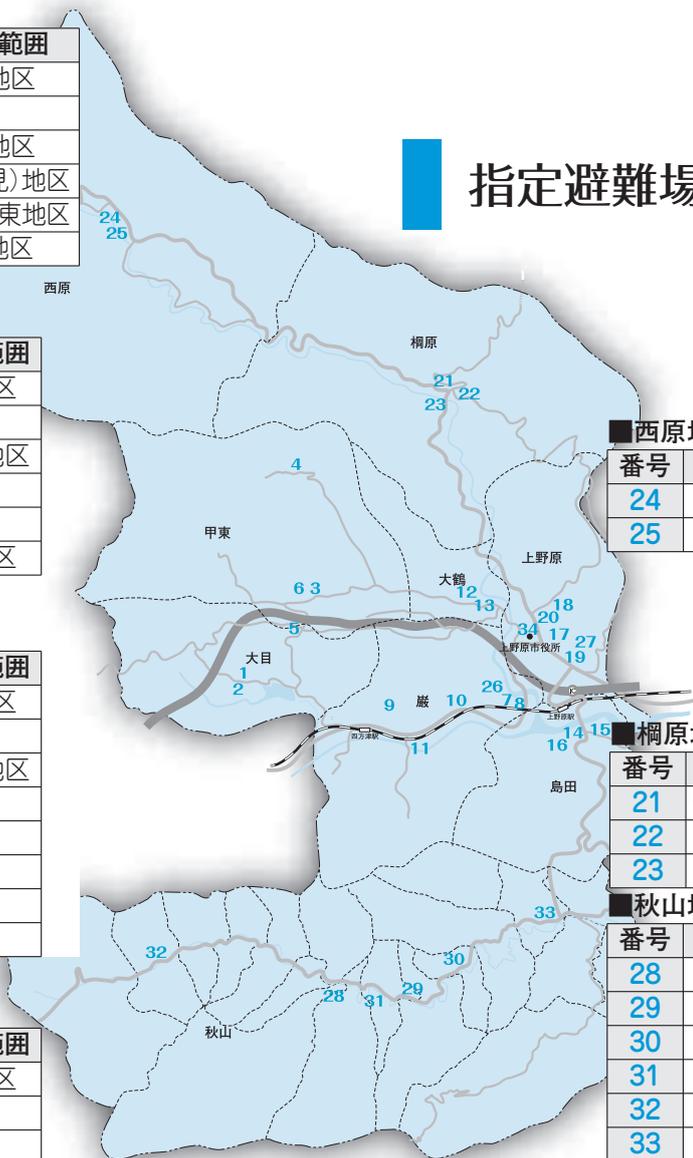
■大鶴・上野原地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
12	大鶴小学校	大鶴地区
13	旧大鶴幼稚園	〃
17	上野原小学校	上野原地区
18	上野原中学校	〃
19	上野原第1保育所	〃
20	上野原第2保育所	〃
27	日大明誠高校	〃
34	もみじホール	〃

■島田地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
14	島田小学校	島田地区
15	島田中学校	〃
16	島田保育所	〃

指定避難場所一覧表



■西原地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
24	旧西原小学校	西原地区
25	西原保育所	〃

■桐原地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
21	桐原小学校	桐原地区
22	旧桐原中学校	〃
23	桐原保育所	〃

■秋山地区

番号	避難場所名称	地域の範囲
28	秋山小学校	秋山地区
29	秋山中学校	〃
30	秋山保育所	〃
31	秋山公民館	〃
32	旧浜沢小学校	〃
33	旧桜井小学校	〃

震災への備え

私たちにできること

私たちは、東日本大震災から学ばなければなりません。

気仙沼市の熊谷さんや地域県民センター防災担当者、倉田西部地区防災会長の話にあるように、震災を正しく理解し、十分な備えをする必要があります。また、日ごろから地域のみなさんとコミュニケーションをとり、地域の結びつきを強めておくことが極めて重要です。

みなさんも、このような話に耳を傾け、他人事だと考えずに防災意識を高め、震災へ



の備えを行ってください。

具体的な備え

まずは、自分の身は自分で守る自助が大切です。大地震が発生したとき、まず持ち出すのは自分(家族)の命・身体であり、なにより生き残ることです。倒壊物や落下物に注意しつつ安全な場所に移動しましょう。ヘルメットなども用意しておくといいでしょう。

次に被害を少なくする共助が大切です。あなたの周りに災害時に援護を要する人がいませんか？ 普段から把握して

おくことで避難等の手助けや安否の確認を迅速に行うことができます。また、日ごろからの地域のつながりが大切です。ご近所同士で声をかけあうことでいざというときに助け合うことができます。

また、身を守る「家の中の安全対策」が必要です。住宅の耐震や家具の固定は万全ですか？ 家具の転倒を防止するために、転倒防止器具など家具をしっかりと固定しましょう。耐震化がすぐにできなくても家具の配置をかえたり、高い場所にものを置かないなど、各自で工夫して対策をしましょう。また、住宅用火災警報器も設置しましょう。

さらに、非常用の持ち出し品は用意してありますか？ 下のチェックリストで確認してみましょう。また、震災復旧までの数日間を自足するため、最低3日分の備蓄品を用意しましょう。

災害用伝言サービスなども、事前に試してみましょ

最後に

まずは、みなさんひとりひとりが、震災を想像し、備え、行動することが大切です。

■非常持ち出し品チェックリスト■

いざという時にすぐ持ち出せるようにリュックサックなどにまとめておきましょう。

《持ち出し品》

- 飲料水 非常食料 懐中電灯
- ラジオ 応急衣料品 持病の薬
- タオル 現金(硬貨) 軍手
- ティッシュ 生理用品 ヘルメット
- マスク 靴 ライター・マッチ
- 笛 など

※赤ちゃんのいる家庭は、ミルクやおむつなども用意しましょう。

※上記の持ち出し品は一時的なもので、最低3日分の食料品や生活用品、電池、ガスコンロなど必要と思われるものも用意しておきましょう。

■災害用伝言サービス■

震度6以上の地震が発生したときや大規模な災害などにより電話が混み合っているときにサービスが開始されます。

《サービス概要》

- 伝言の保存時間はおよそ48時間
- 録音時間1伝言30秒以内(最大10伝言まで登録可能)
- 携帯電話・PHSからも利用可能。(一部を除く)
- 毎月1日には24時間体験利用可能

登録方法

171にダイヤルする

▼ガイダンスが流れる

録音の場合

▼ガイダンスが流れる

自宅電話番号を入力

▼

30秒以内で伝言を入れる

再生方法

171にダイヤルする

▼ガイダンスが流れる

再生の場合

▼ガイダンスが流れる

自宅電話番号を入力

▼

再生される

今年の夏も「熱中症」にご用心！！

熱中症の発生は、7月～8月がピークになります。特に今年の夏は、節電意識からエアコンなどの使用を控えることで、室温が上昇し体調を崩すことがあります。無理な節電には十分注意しながら、熱中症を正しく理解し、熱中症予防に努めましょう。

熱中症とは

- 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、吐き気などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。
- 気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と体調が良くない、寝不足、暑さに体が慣れていないなどの条件が組み合わされることにより、熱中症の発生が高まります。
- 屋外で活動しているときだけでなく、浴室や就寝中、車内、室内でも起こる可能性があります。

予防法は

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

- ①水分・塩分補給
のどの渇きを感じなくてもこまめに水分や塩分補給を
- ②風通しを良くする工夫を
通気性の良い吸湿・速乾の衣服着用
- ③熱中症になりにくい室内環境
扇風機やエアコンで温度調整。室温が上がりにくい環境の確保(遮光カーテン、すだれ、打ち水など)
- ④外出時の準備
日傘や帽子の着用、こまめな休息

処置は

涼しい場所へ避難させる。衣服を脱がせ、身体を冷やす。水分や塩分を補給する。自力で水を飲めない場合や意識がない場合は、直ちに救急車を呼びましょう。

- 問い合わせ 長寿健康課保健担当 (☎62-4134)

児童扶養手当現況届・ひとり親家庭医療費受給資格更新申請書の提出

児童扶養手当現況届・ひとり親家庭医療費受給資格更新申請書は、受給者の前年の所得状況、生活状況等を確認するために必ず提出していただくものです。

現在、これらの手当を受給している方(支給停止者等を含む)は、期限までに忘れずに提出してください。提出を忘れると8月分以降の手当等が受けられません。

●提出期限

8月31日(水)

●提出先

福祉課子育て支援担当

ご注意

- 「児童扶養手当現況届」「ひとり親家庭医療費受給資格更新申請書」の用紙は、受給者全員に郵送しています。
- 提出時に審査を行いますので、必ず受給者本人が提出してください。
- 支所・各出張所への提出や郵送による提出はできません。
これらの手当を受けていない方で支給要件に該当する方は、早めに手続きをしてください。なお、所得制限などの要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

- 問い合わせ 福祉課子育て支援担当 (☎62-3115)

上野原市長

江口英雄



被災地の気仙沼市訪問

市では、これまで支援物資の搬送を3回行いました。私は、そのうち3回目の搬送の際、市職員に同行し、気仙沼市を激励訪問しました。

当日は、気仙沼市の菅原市長と面会し、市内の被災状況や多くの気仙沼市民が避難生活を余儀なくされていること、被災地の復興・復旧にはまだほとんど手がまわらないことなどのお話を伺いました。

また、市では、気仙沼市の復興・復旧に協力できることがないかなどを伺いました。

そのなかで、当市桐原地区にある山梨県立ゆづりはら青少年自然の

里を利用して気仙沼市の子どもたち40名〜50名程度を招待したいと提案したところ、菅原市長もころよよくご快諾していただきました。

ただ、震災が発生してから間もないことや子どもたちをはじめ市民の心の傷が残っている状況を考慮し、来年の夏に招待することとなりました。この他にも、市として出来る限りの支援を行っていく旨を菅原市長に伝えました。

菅原市長との面会後は、避難所として利用している気仙沼小学校の体育館に向かいました。避難された方からは、震災発生時の様子や避難生活

などのお話を伺いました。まだ厳しい避難生活が続きますが、一日も早い生活再建に向け激励の言葉をかけてきました。

最後に、気仙沼市の漁港の視察を行いました。私は、震災発生から連日のようにテレビで被害の様子を見ていましたが、実際にその現場にたつと、目の前に映る光景に言葉を失いました。

今回の訪問をとおして、人類の英知を超えた想像を絶する自然の脅威に呆然とする一方で、私たち人類の傲慢さを思い知らされました。また、原点に立ち戻って「自然との共生」をひとりひとりがじっくりと考え直す必要があると感じました。

「飛び出せ、市長室!!」

市では、市内で活動しているサークルや集まりなどに市長が直接お伺いし、日ごろの活動を拝見しながら意見交換する「飛び出せ、市長室!!」を試行的に実施しています。

第2回目となる「飛び出せ、市長室!!」では、6月25日、八米ふれあいいきいきサロンにお伺いし、参加者と意見交換しました。そのなかで「新市立病院建設は順調にすすん

でいるか」「病院に行くまでの手段がなく大変苦労している」など、さまざまな意見をお伺いしました。飛び出せ市長室は、お伺いした意見を市政運営の一助として活用し、みなさんと市政に関する相互理解を深め、協働のまちづくりを推進していくことを目的としていきます。

今後も、引き続きみなさんのところにお伺いしご意見を頂きたいと思えます。



▲参加者からの意見や話しに対して、丁寧に答える江口市長

●問い合わせ
企画課政策推進担当 (☎62-3118)

「市民のみなさんと市長とのふれ愛トーク」

「市民のみなさんと市長とのふれ愛トーク」は、市長が市民のみなさんから地域の身近な課題や提言等を直接お伺いし、お答えするものです。

※このふれあいトークは、個人情報等ではありませぬ

でご理解ください。

●日時 8月23日(火)午前9時〜11時

●毎月1回、2時間を目安に開催しています。

●方法 1人または1組(5人程度)を対象として、対話時

間はおおむね20分間です。

●場所 市長室

●申込み・問い合わせ

企画課政策推進担当 (☎62-3118)

●メールアドレス

kikaku@city.uenohara.lg.jp

診療科(所)	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	両角・細川 進藤・前田	岡本・村田 石井・津久井大	両角・津久井大 反頭・牛島	津久井由・瀧山 津久井大・村田	岡本・村田 反頭・※1前田
小児科	午前	非常勤小児科医交替	赤羽	中根	長谷部	小林
小児心臓外科	午後				喜瀬(予約第1週)	
脳神経外科	午前	長坂	長坂	長坂	山梨大非常勤医師交代	長坂
外科	午前	高橋	吉田	吉田	高橋	高橋
胸部外科	午後				平良(予約)	
肛門科(外科併任)	午前	高橋	吉田	吉田	高橋	高橋
皮膚科	午前/午後	柴垣				川村
整形外科	午前	松山	※2	戸島	※3	須田
眼科	午前	後藤		館野	※4大野(予約)	※5大野(時間制限)
耳鼻咽喉科	午前/午後			水越		宮田
泌尿器科	午前/午後	桜井		長尾		豊永
西原診療所	午前	※6				
秋山診療所	午前	※7	交代制	古屋		細川
	午後	岡本				

※土曜日は内科の診療(非常勤内科医が週交替で診療)を午前中に行います。

- ※1 内科の金曜日は、第2・4週のみ前田医師が診療を行います。
 - ※2 整形外科の火曜日は、第1・3・5週が松原医師、第2・4週が西田医師の診療となります。
 - ※3 整形外科の木曜日は、第2・4週のみ中島医師が診療を行います。
 - ※4 眼科の木曜日の大野医師は、白内障手術対象の方のため、完全予約制外来です。
 - ※5 眼科の金曜日の大野医師は、午前10時30分までに受付した患者様の診療となります。
 - ※6 西原診療所は第1・3週のみ診療を行います。
 - ※7 秋山診療所の月曜日(午前)は、第1・3・5週が村田医師、第2・4週が岡本医師が診療を行います。
- ※診療予定は都合によりやむを得ず変更となる場合があります。(表は7月21日現在の予定です。)

男女共同参画ニュース スマイル NO.60

フォーラム「パパはイクメン」 が開催されました

市男女共同参画推進委員会では、6月の男女共同参画推進月間に合わせて、フォーラム「パパはイクメン」を開催しました。フォーラムでは、寸劇「イクメンパパになれるかな?」を行いました。寸劇は、共働きの妻とともに生活する夫が家事育児に協力し奮闘する場面を面白く表現していて、参加者の笑いを取りました。

その後、市内在住で共働きしている30代男性3名にインタビューをしました。この3名は、積極的に家事育児の手伝いをしていて、貴重な意見を聞く事ができました。近年では、男も家事育児をすることに何の抵抗もなく、当然のように協力しあっているの、このような話を聞いた年配の方の中には驚きを感じる方もいました。また、時代が変化していることを強く感じた様子でした。

参加者は、仕事場や家族の理解と社会的な援助さえあ

れば、大変だと思われる子育ても、楽しいことが沢山あり、やりがいのあることだと話していました。

市男女共同参画推進委員会には、このような座談会の話聞いて、その充実感が充分伝わってきました。

最後に、参加者全員がグループに別れて、子育てに関する話し合いを行いました。ここでは、幅広い年齢層の方が居ましたので、それぞれの年齢と年代の貴重な話しを聞くことができました。

今回のフォーラムは、大変得るものが多く、内容が濃い話もできました。このフォーラムの内容は、行政放送でも放送されますので、みなさんもぜひご覧になっていただきたいと思います。

また、参加者から貴重な御意見を頂いたアンケートなどは、このコーナーなどで紹介していきたいと思っています。

今回のフォーラムにご協力頂いた方々、大変有り難うございました。

(上野原市男女共同参画推進委員会)

●問い合わせ 総務課行政防災担当(☎62-3117)





平成22年度の 上野原市のごみの量

昨年度の収集および持ち込みの量は次のとおりです。

- ◆**収集（カッコ内は平成21年度の量）**
- ・可燃ごみ 6125トン（6142トン）
- ・カン 183トン（204トン）
- ・ビン、ガラス 328トン（357トン）
- ・ペットボトル、トレー 29トン（37トン）
- ・資源ごみ 761トン（808トン）
- ・粗大ごみ 14トン（14トン）
- 合計** 7440トン（7563トン）
- ◆**持ち込み（カッコ内は平成21年度の量）**
- ・可燃ごみ 2562トン（2544トン）
- ・カン 7トン（7トン）
- ・ビン、ガラス 63トン（64トン）

- （トン）
- ・ペットボトル、トレー 0・4トン（0・3トン）
- ・長物鉄 26トン（42トン）
- ・資源ごみ 133トン（112トン）
- ・粗大ごみ 255トン（252トン）
- ◆**合計** 3047トン（3020トン）

平成14年度にごみの総量が1万2119トンでピークを迎え、その後減少傾向にあります。この要因としては、資源ごみの分別収集に協力をいただいた成果と感謝しています。さらに可燃ごみを減少させるために、今後は可燃ごみに混在される資源ごみの分別排出を呼びかけるとともに、容器包装リサイクル法に基づき、ペットボトル、トレー、紙製容器、プラスチック製容器の分別排出についても、排出しやすい条件づくり（拠点回収場所の増設等）に努めていきます。

ペットボトル・トレーは 拠点回収しています

ペットボトル・トレーの回収場所は次のとおりです。

- 大目地区** 大目出張所、犬

- 目公民館
- 甲東地区** J Aクレイン甲東支店

- 巖地区** スーパー公正屋しおつ店、J Aクレイン巖支店、ファーマーズコマア、ヤマザキデイリー上野原店

- 大鶴地区** 大鶴出張所、吾妻神社

- 島田地区** J Aクレイン島田支店、上新田防災庫、新田水防会館

- 上野原地区** 市役所前庭、グルメシティ上野原店、スーパー公正屋上野原店、オギノ上野原店

- 柵原地区** J Aクレイン柵原支店

- 西原地区** 西原出張所

- 秋山地区** 秋山支所、給食センター、旧桜井小学校

- ペットボトル** ラベルに「PET」と記載されているものが対象になります。卵の容器などは回収できません。キャップとラベルを取り、中をゆすぎ、つぶしてから出してください。

- トレー** ラップなどを取り除き、洗って乾かしてから出してください。

- 問い合わせ** クリーンセンター（☎63-5353）



社会福祉法人にんじんの会 にんじんホーム・上野原 9月12日オープン

社会福祉法人にんじんの会では、市の介護保険事業計画に位置付けられた施設として「にんじんホーム・上野原」を9月12日にオープンします。

にんじんホーム上野原では、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）と小規模多機能型居宅介護の2事業を行います。

ご利用を希望される方は、気軽にお問い合わせください。

《認知症対応型共同生活介護（グループホーム）》

要介護状態の認知症高齢者が9人を1グループとして、日常生活全般のサポートを受けながら、家庭的な環境のなかでスタッフとともに生活する場所です。（部屋は個室です）

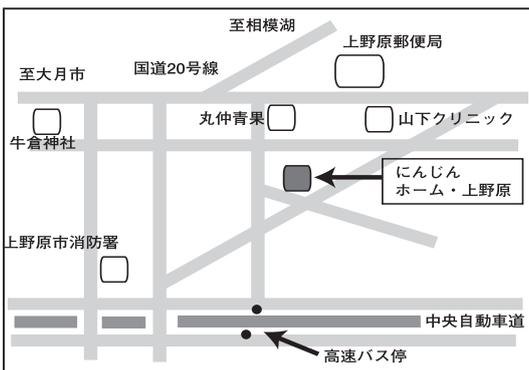
《小規模多機能型居宅介護》



▲にんじんホーム・上野原の外観イメージ図

住み慣れた地域で「通い」を中心に必要なに応じて「訪問」「宿泊」の介護サービスを選んで受けることができます。

- 問い合わせ** 社会福祉法人にんじんの会（☎62-6222）原事業所



保健だより 8月



問い合わせ——
保健担当
電話 62-4134

★乳幼児健診（8/1～9/10の予定）

	実施日	該当児
3～4か月児	8月 9日（火）	平成23年3月10日～ 4月24日生
9～10か月児	8月23日（火）	平成22年10月～11月15日生
1歳6か月児	9月 8日（木）	平成22年1月～2月生
3 歳 児	8月 1日（月）	平成20年2月16日～3月25日生
	9月 9日（金）	平成20年3月26日～5月15日生

※詳細については該当児にお知らせを郵送します。

★骨粗鬆症検診

- ◎対象者 市内に住民登録があり平成24年4月1日までに次の年齢になる女性
40・45・50・55・60・65・70歳
- ◎検診料 700円
- ◎内 容 医師の診察（問診）・骨塩定量検査
- ◎検診日 8月16日（火）
- ※毎月第3火曜日（午後）の実施となります。
- ◎医療機関 上野原市立病院
- ◎申込み 直接、上野原市立病院へお申し込みください。
- ◎受付時間 午後1時～5時（土・日・祝日除く）
- ※市の集団検診との重複受診はできません。

★献血のお願い

- 市では、山梨県赤十字血液センターの協力により献血を実施します。
- ◎日 時 8月10日（水）午前10：00～正午
午後1：00～3：00
 - ◎場 所 市役所センタープラザ
 - ◎対象者 16歳～64歳の健康な方
 - ※現在妊娠中の方は、献血できません。
 - ◎持ち物 ・運転免許証や健康保険証など本人確認できるもの
・献血カードまたは献血手帳
 - ※初めて献血される方は、当日、献血カードを発行します。

★集団検診・婦人科検診

市では、秋実施分の集団検診・婦人科検診の申し込みを受け付けています。まだ、申し込みされていない方、今年度検診を受けていない方は、この機会にぜひお申し込みください。

- ◎日 程
《集団検診（午前実施）》
・10月1日（土）、2日（日）、8日（土）もみじホール
・10月29日（土）島田中学校
《婦人科検診（午後実施）》
・9月22日（木）、10月12日（水）、14日（金）、17日（月）、20日（木）、25日（火）、26日（水）
島田コミュニティセンター
- ◎申込期限 8月12日（金）

★母子健康手帳交付・妊婦相談日

- ◎日 時 毎週火・木曜日（祝日除く）
午前9：00～11：00
- ◎持 ち 物 印鑑
- ◎場 所 保健センター（勤労青少年ホーム）
- ※車でお越しの方は、旧役場跡地に駐車してください。
- ※日時等でご都合のつかない方は、保健担当へお問い合わせください。

★歯周疾患検診

- 市では、次の年齢の方を対象に歯周疾患検診を実施しています。何歳になっても自分の歯で食べられる楽しみをもちつづけ、健康を維持するためにも、歯周疾患検診を受診しましょう。
- ◎対象者 市内に住民登録があり平成24年4月1日までに次の年齢になる方
40・45・50・55・60・65歳
 - ◎検診料 800円
 - ◎医療機関 山梨県歯科医師会加盟の歯科医院
 - ◎申込み 保健担当へ電話でお申し込みください。

★乳幼児すこやか発達相談

- 「子どものことばが遅い」、「子どものくせが気になる」、「子どもがすぐかんしゃくをおこして大変」、「お友だちと上手に遊べない」などの悩みごとの相談を行っています。
- ◎日 時 8月22日（月）予約制となります。
 - ◎スタッフ 心理相談員・保健師
 - ◎対 象 市内在住の就学前のお子さんと保護者
 - ◎申込み 保健担当へ電話でお申し込みください。



山梨県若者サポートステーションからお知らせ

山梨県若者サポートステーションでは、15歳から40歳までの若者の職業的自立支援を行っています。

また、家族支援セミナーとして公開講演会「働けないわが子の理解と対応」～家族だからできる支援～を開催します。

日時 8月13日(土)午前10時～正午

場所 山梨県立青少年センター
タリーパス和戸館視聴覚室(甲府市川田町517番地)

申込方法 事前に電話でお申し込みください。

定員 40名

参加費 無料

※講演会終了後、午後1時よりピア・ファミリーサークルを開催します。

申込み・問い合わせ 山梨

移動県民相談のお知らせ

山梨県県民生活センターでは、移動県民相談を行います。

日時 9月15日(木) 午前10時～午後3時

場所 富士・東部建設事務所
所3階大会議室(大月市大月町花咲1608-3)

相談内容 法律相談(近隣問題、土地住宅、相続、金銭貸借)、交通事故相談、消費生活相談

予約・問い合わせ 山梨県県民生活センター(☎055-223-1571)

ソバの作付けに奨励補助金を交付します

市では、遊休農地、耕作放棄地の解消および農業振興を図るため、ソバの作付けを奨励しています。作付けした方には補助金を交付します。

採択基準

①秋ソバを対象とします。
②他の事業と重複する場合は対象外とします。

●補助金額 1アール当たり3千円(上限5万円)

●申請方法 作付け後、経済課または秋山支所・各出張所へ申請書を提出してください。

●申請期限 8月31日(水)必着

●問い合わせ 経済課農村地域づくり担当(☎62-3119)

いきいき山梨ねりんピクニック2011開催

今年も次の日程でねりんピクニックが開催されます。参加希望者はお申込みください。

開催日 9月24日(土)

場所 小瀬スポーツ公園

競技種目 ソフトバレーボール、クイズウォーキング、輪投げ、ペタンク等

申込締切 8月17日(水)

申込み・問い合わせ 長寿健康課高齢者介護担当(☎62-4133)

無料法律相談のお知らせ

市では、消費生活等に係る無料法律相談を行います。

日時 9月9日(金) 午後1時30分～4時30分

●場所 市役所1階会議室B(福祉課横)

●相談内容

①消費生活関連(架空請求、訪問販売等の消費者トラブル、多重債務など)

②市民生活関連(土地住宅、相続など)

※相談は1人30分で、相談内容①・②ともに各3人の相談を受け付けます。限られた時間ですので、相談事項をよく整理し、関係書類等をお持ちください。

●予約期間 8月25日(木)～9月7日(水) 先着順

●問い合わせ 生活環境課生活環境担当(☎62-3114)

子育てプレイルームのお知らせ

子育てプレイルームは就学前のお子さんを対象に、親子で安心して遊べる場所、保護者の情報交換の場所として開放しています。

日時 8月3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)、9月7日(水) 午前9時～正午

場所 もみじホール2階会議室2

※プレイルーム内において「おもちゃ病院(第2、4週

の午前11時～正午)を開設しています。

●問い合わせ 福祉課子育て支援担当(☎62-3115)

健康講演会のお知らせ

市では、健康講演会を開催します。

開催日 8月11日(木)

場所 もみじホール2階会議室

参加費 無料

対象者 血糖値が高い方、タバコを止めたい方、健康に関心がある方

●申込方法 前日までに保健担当へお申し込みください。

●内容

《第1部 糖尿病について》

・時間 午後2時～2時45分

・講師 市立病院内科医師 前田知幸先生

《第2部 喫煙について》

・時間 午後3時～3時45分

・講師 市立病院内科医師 岡本まさ子先生

※受付は開演の15分前からです。

※第1部・第2部どちらかひとつの申込みも受け付けます。

●問い合わせ 長寿健康課保健担当(☎62-4134)

**危険物取扱者保安講習
受講案内**

（社）山梨県危険物安全協会
では、平成23年度危険物取扱
者保安講習を次のとおり実施
します。

講習日	講習会場	定員
9月26日(月)	山梨県自治会館 (甲府市蓬沢1-15-35)	200人
9月27日(火)	富士吉田市民会館 (富士吉田市緑が丘2-5-23)	150人
9月28日(水)	いちのみや桃の里ふれあい 文化館(笛吹市一宮町921-1)	150人
9月29日(木)	桃源文化会館 (南アルプス市飯野2971)	300人

- 講習の種類
 - 給油取扱所講習 午前9時
30分～午後0時30分(受付
午前9時～9時30分)
 - その他講習 午後1時30分
～4時30分(受付午後1時
～1時30分)
- 受講申請受付期間 8月22
日(月)～26日(金)午前9時
～正午・午後1時～4時

●受講申請受付場所 上野原
市消防本部、(社)山梨県危
険物安全協会

●受講手数料 4700円
(山梨県収入証紙)

●受講申請書は、市消防本部
に用意してあります。

●問い合わせ 消防総務課予
防担当(☎62-4111)

**第5回上野原室内水泳
競技大会のお知らせ**

市民プールでは、第5回上
野原室内水泳競技大会を開催
します。誰でも参加できます。
気軽にお申し込みください。

●日時 8月21日(日) 午前
9時開始

●場所 市民プール

●申込締切 8月10日(水)

●参加費 一人1200円
(2種目以内)

●種目などの詳細は、お問い
合わせください。

●大会当日の、午前・午後の
部が大会専用利用となりま
す。一般の方の利用はでき
ません。

●夜間の部とトレーニングル
ーム、サウナは通常どおり
利用できます。

●問い合わせ 市民プール
(☎63-6070)

**「慰霊友好親善事業」
参加者を募集します**

(財)日本遺族会では、「戦
没者遺児による慰霊友好親善
事業」の参加者を募集します。

この事業は、厚生労働省か
ら委託・補助を受け実施して
いるもので、先の大戦で父等
を亡くされた戦没者の遺児を
対象とし、父等の戦没した旧
戦域を訪れ、慰霊追悼を行う
とともに、同地域の住民と友
好親善を図ることを目的とし
ています。

●日程 詳細は(財)日本遺
族会事務局へお問い合わせ
ください。

●費用 10万円

●実施地域 ①旧満州、②旧
ソ連、③西部ニューギニア、
④中国、⑤東部ニューギニ



8月の相談日

区分	日時	場所
児童巡回相談	11日(要予約 ☎62-3115) 午前10:30～午後3:00	もみじホール 3階和室
児童家庭相談室	毎週月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00	福祉課子育て支援担当 ☎62-1199
母子家庭相談	毎週月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00	福祉課子育て支援担当 ☎62-3115
ふれあい福祉相談	毎週木曜日 午前10:00～午後3:00	上野原老人福祉センター ☎63-3444
定例人権相談	10日・26日 午前10:00～正午	もみじホール3階会議室7 市役所会議室B
市税収納・納税相談	28日 午前9:00～正午	税務課カウンター ☎62-3113
行政相談所	15日 午前10:00～正午	市役所会議室A
障害者出張相談	18日(要予約 ☎62-3115) 午後1:30～4:00	市役所会議室B
結婚相談所	毎週日曜日 午前10:00～午後3:00	織物工業協同組合 ☎63-3800
学校カウンセラー 教育相談	毎週月・水・木曜日 午前8:30～午後4:00	もみじホール相談室 ☎63-5700 ☎0120-28-7830

**三生会病院で
盆踊り大会を開催します**

(財)三生会病院では、山梨

- ア、⑥フィリピン、⑦トラ
ック諸島、⑧パラオ諸島、
⑨ソロモン諸島、⑩ボルネ
オマレー半島、⑪ミャンマ
ー、⑫インド、⑬マリアナ
諸島、⑭マーシャル諸島、
⑮モンゴル、⑯ピスマルク
諸島

●問い合わせ(財)日本遺族
会事務局(☎03-3261-
5521)

●内容 盆踊り、模擬店、イ
ベント、花火など

●場所 三生会病院グ라운
ド

●日時 8月3日(水)午後6
時～8時15分(雨天翌日順
延)

●駐車場はありませんので、
車での来場はご遠慮くださ
い。

●問い合わせ(財)三生会病
院(☎62-3355)

「深城ダム夏休みイベント」の開催

県では、ダムの役割を知り、水の大切さを考えていただくために、「ボート乗船会」と「ダム内見学会」を開催します。

●開催日時 8月12日（金）
午前9時30分～午後3時

●内容

《ボート乗船会》

- ・ダム湖をボートで周遊
- ・周遊は、1回20分（計16回予定）

※定員は、各回4名
※乗船には予約が必要です。

《ダム内見学会》

- ・ダム内部の探検
- ・ダムの働きについてのビデオ上映

※上映は1回30分（計11回予定）

※定員は、各回15名

●場所 山梨県深城ダム管理事務所（大月市七保町瀬戸230811）

●予約受付期限 8月11日（木）

※各イベント予約優先・先着順（当日受付可）

●問い合わせ 山梨県深城ダム管理事務所（☎24-7062）
午前9時～午後5時

（土日を除く）
●ホームページ

<http://www.pref.yamanashi.jp/damu-fk/index.html>

成人式実行委員を募集します

◇記念すべき成人式を自分達の手で運営してみませんか

市教育委員会では、平成24年成人式実行委員を募集します。企画・運営に協力していただける方は、教育学習課社会教育担当までご連絡ください。

●実行委員の対象者 平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方

●問い合わせ 教育学習課社会教育担当（☎62-3409）

第12回秋山ふるふり祭り

秋山青年会では、秋山ふるさと祭りを開催します。

●日時 8月14日（日）午後5時～9時

●場所 秋山中学校校庭
※雨天時は体育館で行います。

●問い合わせ 秋山青年会代表佐藤（☎090-4017-0264）

関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（空手道競技）出場権獲得

6月5日、小瀬武道館で開催された第30回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技山梨県予選会において、女子の部個人組手・形と男子の部個人組手・形において優秀な成績をおさめ、7月29日から群馬県で行われた本大会の出場権を獲得しました。

《敬称略》

《女子の部個人組手》

杉本絵梨（上野原小4年）・杉本まり（上野原小4年）・守屋みなみ（上野原小6年）

《女子の部個人形》

山下怜子（上野原小4年）・富田飛鳥（上野原小6年）

《男子の部個人組手》

齋藤瑠樹（上野原小4年）・加藤流星（上野原小6年）・山口隼弥（上野原小6年）

《男子の部個人形》

小俣渉（上野原西小5年）・齋藤蓮（上野原小6年）

第11回全日本少年少女空手道選手権大会出場権獲得

5月5日、小瀬武道館で開催された文部科学大臣旗争奪第11回全日本少年少女空手道選手権大会山梨県予選会において、市内小学生が形個人戦・組手個人戦で優秀な成績をおさめ、8月6日から東京武道館で行われる全国大会の出場権を獲得しました。

《敬称略》

《女子代表形個人戦》

杉本彩綺（秋山小2年）・山下怜子（上野原小4年）・富田飛鳥（上野原小6年）

《女子代表組手個人戦》

小俣晴（秋山小1年）杉本ゆり（上野原小2年）・天野愛唯（秋山小2年）・杉本絵梨（上野原小4年）・杉本まり（上野原小4年）・守屋みなみ（上野原小6年）

《男子代表組手個人戦》

山口聖也（上野原小3年）

第39回山梨県少年少女空手道大会優勝

6月12日、小瀬武道館で開催された第39回山梨県少年少女空手道大会において、上野原空手道スポーツ少年団が総合優勝しました。また、形個人戦・組手個人戦でもそれぞれ優勝し、最優秀選手賞を加藤流星さんと富田飛鳥さんが受賞しました。《敬称略》

《女子の部組手個人戦》杉本ゆり（上野原小2年）・杉本絵梨（上野原小4年）・守屋みなみ（上野原小6年）

《女子の部形個人戦》天野愛唯（秋山小2年）・山下怜子（上野原小4年）・富田飛鳥（上野原小6年）

《男子の部組手個人戦》小俣直央（上野原西小5年）・加藤流星（上野原小6年）

平成23年春の叙勲



▲瑞宝単光章
溝呂木昭次さん

甲東地区在住の溝呂木昭次さんは、元上野原町消防副団長としての功績が認められ瑞宝単光章を受章しました。受章にあたり、「地域の協力があつたから受章できた」と話していました。

平成23年春の褒章



▲紅綬褒章
佐藤 稔さん

島田地区在住の佐藤稔さんは、桂川で溺れていた子どもを救助した功績が認められ紅綬褒章を受章しました。受章にあたり、「尊い命が助かって本当に良かった」と話していました。

第16回危険業務従事者叙勲



▲瑞宝双光章
近田 始さん

島田地区在住の近田始さんは、上野原市消防監としての功績が認められ瑞宝双光章を受章しました。受章にあたり、「受章できたのもみなさんの支えによるもの」と話していました。



▲瑞宝双光章
松本喜久雄さん

巖地区在住の松本喜久雄さんは、警視正としての功績が認められ瑞宝双光章を受章しました。受章にあたり、「家族や同僚の支えのおかげで受章できた。今後は、地域に貢献していきたい」と話していました。

インターハイ出場おめでとう



▲日大明誠高校
関根凌也さん



▲谷村工業高校
上野真弥さん

平成23年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の予選を勝ち抜き、谷村高校3年の上野真弥さんが相撲団体競技で、また、日大明誠高校3年の関根凌也さんが空手道競技で、本大会への出場権を獲得しました。

第57回全日本中学校
通信陸上競技大会出場



上野原中学校
水越 海さん

7月9日、甲府市緑が丘陸上競技場で行われた第57回全日本中学校通信陸上競技大会山梨県大会男子走り高跳びの種目で、水越さんは、全国大会の参加標準記録を突破し、8月20日、21日に奈良県鴻ノ池陸上競技場で行われる第57回全日本中学校通信陸上競技大会の出場権を獲得しました。

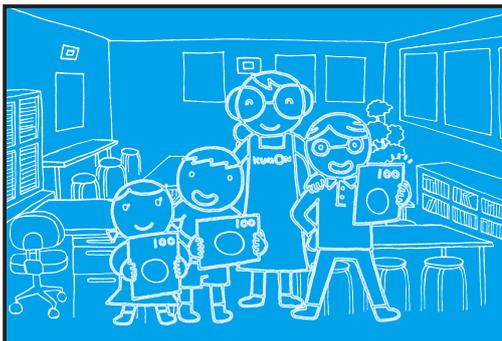
高齢者叙勲



▲旭日単光章
歌田 實さん

上野原地区在住の歌田實さんは、元上野原町職員や元町議会議員としての功績が認められ、旭日単光章を受章しました。受章にあたり、「関係者の協力があつたから受章できました。感謝している」と話していました。

広告



くもんの先生募集中

- ★多くの子どもたちとの出会いの中で、自分自身も成長できるとてもやりがいのある仕事です。
- ★充実した研修制度がありますので、教育の仕事に携わったことがなくても心配ありません。
- ★各種援助制度による収入面のサポートもありますので、安心して開設できます。

資格:50歳までの女性

KUMON 0120-834-414

受付時間は9時半～17時半(土・日・祝日を除く)

<http://www.kumon.ne.jp/inst/> くもんの先生 検索

「くもんの先生」募集説明会

上野原市役所もみじホール3F
会議室8

7/28(木)・8/25(木)
10:00～12:00

※この日程以外にも、随時説明会を行います。

※お気軽にお問い合わせください。



わが家の主役



上野原地区 津田 琉温くん（1歳0か月）
敏弘さん真由美さんの長男
“すすすす元気に育ってね！！”



上野原地区 長田 花音ちゃん（1歳6か月）
渉さん未来さんの長女
“いつまでも家族みんな笑って明るく
過ごして行こうね！！”

掲載写真募集！掲載したい写真をお持ちのうえ企画課までお越しください。
問い合わせ 企画課政策推進担当（電話62-3118）

伝言板

富士・東部保健福祉事務所（富士・東部保健所）
富士吉田市上吉田1-2-5（☎0555-24-9032）
<http://www.pref.yamanashi.jp/ft-hoken/index.html>

山梨県自殺予防推進大会
のお知らせ

山梨県では、自殺予防推進大会を開催します。

●日時 9月12日(月)

午後1時30分～4時30分

●場所 甲府市総合市民会館

(甲府市青沼3-5-44)

●テーマ 「うつ病から考える自殺予防」

●内容

《講演》「こころを元気にする認知療法」

《講師》大野裕氏（国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長）

●申込方法 電話またはファックス

※居住市町村名、氏名、開催を何で知ったか、参加人数をお伝えください。

●申込期限 8月31日(水)

●申込み・問い合わせ 山梨県障害福祉課心の健康担当
(☎055-223-1495)
(☎055-223-1464)

食品衛生月間

8月は、食品衛生についての普及啓発活動を行う「食品衛生月間」です。

今回の伝言板では、腸管出血性大腸菌（O111など）について説明します。

腸管出血性大腸菌とは、牛などの腸内にいる病原性を持った大腸菌で、人が感染すると、激しい腹痛や下痢、血便などの症状をもたらし、特に、小児や老人では重症化する傾向にあります。

原因食品の多くは、生肉や加熱不足の肉ですが、生野菜や果物などが原因となることもありますので、次の対策を実施し、食中毒を予防しましょう。

《食中毒予防対策》

- ・肉類は、十分加熱し、生で食べないこと。
 - ・生野菜は野菜用消毒剤で殺菌してから食べる。
- 問い合わせ 衛生課（☎0555-249033）

おめでた
おくやみ

◎この欄は、市役所市民課に希望があった方のみ掲載しています。
※敬称略 順不同
(一)は、誕生の場合は保護者、死亡の場合は届出人
|| 6月中届出分 ||

誕生

誕生

甲東地区

清水泰志(崇博)

島田地区

加瀬谷翔太(潤)、加藤海晴(剛)、小俣香澄(岳志)

上野原地区

清水理功(亜友未)、加藤めぐみ(二孔)、市村英恵(悟)

秋山地区
原田遼(美津雄)

婚姻

婚姻

巖地区

鬼木伸真||古川真里奈

死亡

死亡

巖地区

池端孔市(叙子)

大鶴地区

志村好之(勝巳)、冨塚きん子(義重)



新着図書案内

一般書

◇『白樺の樹の下で』

青山文平／著 文藝春秋

御家人二人の剣術仲間を巻き込む辻斬り「大なます」。いまだ人を斬ったことのない貧乏御家人が刃を抜くとき、なにかが起きる……。

◇『刑事の骨』

永瀬隼介／著 文藝春秋

あと一歩で連続幼児殺害犯を取り逃がした不破と田村。十七年後、田村がビル屋上から転落死する。

◇『刀伊入寇』

葉室麟／著 実業之日本社

「刀伊」と呼ばれる異民族が海の方こうから攻めてきた。心に荒ぶるものを抱いた朝廷の貴公子・藤原隆家は、かつてなき困難に立ち向かい……。

◇『ひやかし』

中島要／著 光文社

あくまで気丈で、妖艶で、哀しみを悟らせない花魁たちの日々。江戸時代存在した御免色里・吉原に繰り広げられた物語。

◇『神の左手』

ポール・ホフマン／著 金

原瑞人／訳 講談社
謎の集団に支配され、劣悪な環境のなか、十年にも及ぶ訓練を強いられる少年たち……。

◇『それでも僕は現場に行く』

野口健／著 P H P 研究所

ごみを拾い、遺骨を収集し、センカクモグラを守ろうとするわけは？アルピニスト・野口健が、現場で見て、感じたことを綴る。

児童書

◆『世界の終わりと妖精の馬』上・下

ケイト・トンソン／著 渡辺庸子／訳 東京創元社

◆『カメレオンのレオン』

岡田淳／作 偕成社

◆『夏のサイン』

最上一平／作 角川学芸出版

◆『はなかつぱとももかつぱ』

あきやまただし／著 メディアファクトリー

◆『もぐりのたくはびん』

斉藤洋／作 講談社

絵本

○『イタチとみずがみさま』

山本孝／絵 内田麟太郎／作 岩崎書店

○『いちばんでんしゃのしゃしやさん』

おおもやすお／絵 たけむらせんじ／文 福音館書店

○『あさがお』

荒井真紀／作・絵 金の星社

○『へんぎんのたまごにいちちゃん』

あきやまただし／作・絵 ずき出版

☆夏休み

アニメまつり☆

『サン』礁伝説』ほか

◎日時 8月18日（木）

午前10時～午後3時30分

☆おはなし会

『串かつやよしこさん』ほか

◎日時 8月20日（土）

午後2時30分～
◎たんぽぽ会

図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	⑩	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	22	23	24	25	⑳
28	29	30	31			

○は休館日

☆リンデンドーム

朗読館☆

*8月の朗読館は、お休みとなります。

☆開館時間☆

午前9時30分～午後5時

広報うえのはら・あきやま縮刷版販売中

市では、旧町村のあゆみや出来事がつまった旧上野原町の広報うえのはらと旧秋山村の広報あきやまの縮刷版を販売しています。

『広報うえのはら縮刷版』

●内容 昭和54年1月号（281号）～平成17年2月号（613号）

『販売価格 7000円』

『広報あきやま縮刷版』

●内容 昭和26年7月号（1号）～平成17年2月号（162号）

『販売価格 5000円』

●問い合わせ 企画課政策推進担当（☎62-31118）

島田地区

平本昭子（美好）、幡野郁子（敏典）、内藤重郎（昇）

上野原地区

山本カズ子（要）、糠信武治（政宏）、山崎作治（敦）、清水キヨミ（山崎昭夫）

桐原地区

大窪花子（正浩）、鶴切房子（正治）

秋山地区

杉本敏明（純一）、原田きめ子（あや子）



カメラアングル

●地域のお話を寄せてください。
企画課政策推進担当 電話62-3118



●市内3小学校の交流会

7月8日、上野原小学校で、大鶴・桐原・上野原小学校交流会を行いました。当日は、3年生から4年生までの児童が、ゲームなどをとおしてお互いの交流を深めました。また、ゲーム終了後は、参加児童全員で学校給食を食べ、楽しいひとときを過ごしました。



●林業・見学交流ツアー

7月9日、全国森林組合連合会では、八重山で林業・見学交流ツアーを開催しました。当日は、県外から多くの林業就業に興味がある方が参加し、森林組合職員のアドバイスを聞きながら真剣な表情で林業を体験していました。



●島田地区清掃ボランティア活動

7月2日、島田地区では、新田河川敷公園で、清掃ボランティア活動を行いました。当日は、約60人もの地域のみなさんが集まり、草刈りやゴミ拾い、花壇の手入れなど行いました。花壇には、色鮮やかな花を植え、河川敷を美しく飾っていました。



●薬物乱用防止キャンペーン

6月25日、富士・東部保健福祉事務所では、オキノ上野原店入口で薬物乱用防止キャンペーンを行いました。当日は、やまなしのゆるキャラ武田菱丸くんがキャンペーンに参加し、啓発物品などを配りながら、薬物乱用の防止を呼びかけました。

人口と世帯

人口 ● 26,469人 (−34)
 男 ● 13,228人 (−13)
 女 ● 13,241人 (−21)
 世帯 ● 9,994世帯 (−6)
 平成23年7月1日現在
 () 内は前月比

表紙の写真

想像できますか？津波の恐ろしさ

この写真は、宮城県南三陸町の丘のうえに立つ特別養護老人ホームから撮影した写真です。窓枠から遠くに見える景色は、南三陸町志津川地区の中心地で、2月末時点で8213人の住民が生活していました。震災発生後は、津波により町のほとんどの建物が流れ多くの住民が亡くなりました。津波は、海から約1キロ離れたこの高台にも押し寄せました。みなさんは、この風景から何を想像することができるのでしょうか？震災から学ぶことは多くあります。みなさんも今一度、防災について考えてみましょう。